

令和8年度

6月補正予算(案)の概要



越

前

市

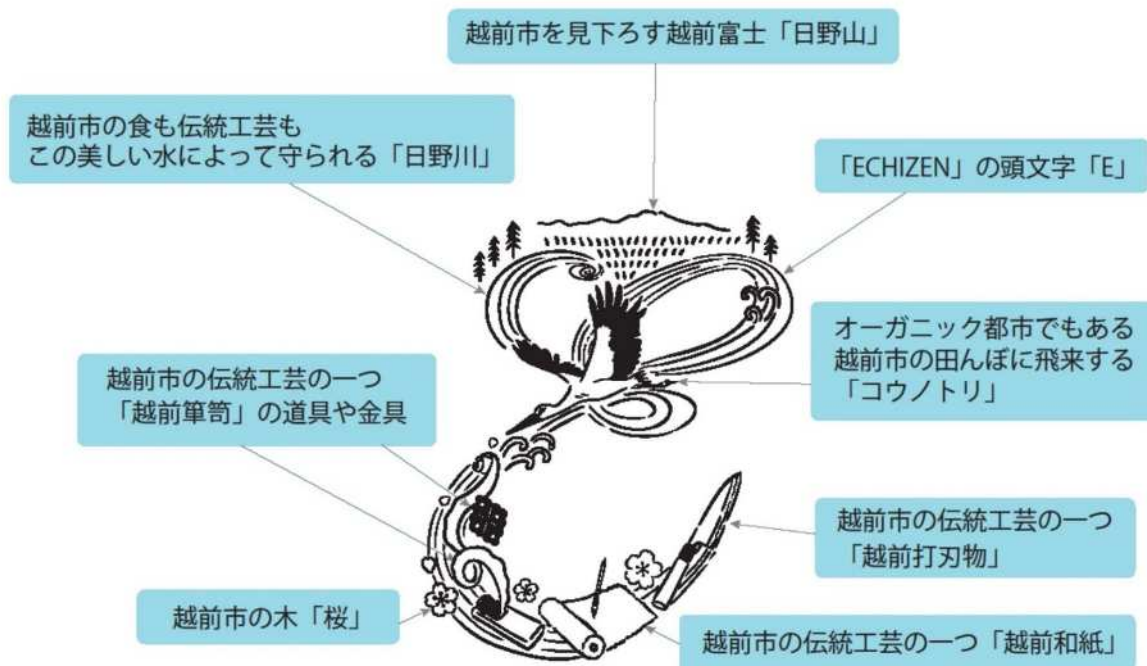
表紙のロゴについて

令和7年10月、越前市は「ユネスコ創造都市ネットワーク」（クラフト & フォーク分野）に加盟しました。

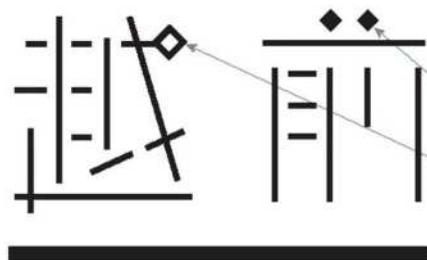
これを契機に、本市在住のデザイナー（a i M I K I 氏）に依頼して制作しました。

市を見守る雄大な日野山や、生き物たちを育む栄養豊かな土と田んぼ、美しい川の水の流れによって豊かな自然と食と産業の循環ができていく越前市を、「ECHIZEN」の頭文字「E」の形に表現しています。

ひとや世代間の交流、時代の流れ、産業の巡りも、どうかずっとスムーズに、勢いよく回り続けますように、という願いがこめられています。



CITY OF CRAFTS & FOLK ART



ECHIZEN

§ I 令和8年度6月補正予算（案）の概要

< 予算の概要 >

令和8年度6月補正予算案（第2号）は、当初予算を継続事業や市民生活の維持にあたり緊急性・必要性の高い事業を中心とした「骨格的予算」として編成したため、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を契機としたさらなる魅力発信や災害対応の強化を図るトイレトラックの導入など政策性の高い新規事業等を盛り込んだ「肉付け予算」として編成しています。

「肉付け予算」の主要施策※は①「明るい」ふるさとづくり、②「前向きに」夢と誇りを持てる産業と担い手づくり、③「元気で」幸せ溢れる100年人生実現、④「楽しく」教育・子育て、⑤「人の絆」で行財政システム改善の5つを柱としています。

※主要施策は次ページ以降に掲載

また、その他の施策として、国の採択を受けたコミュニティ助成事業を計上したほか、今年2月の大雪により被害を受けた施設の修繕やしきぶ温泉湯楽里の安全対策等に必要となる予算を計上しました。

この結果、一般会計の補正予算の規模は3億1,141万8千円となり、補正後の一般会計予算総額は補正前に比べ、0.8%の伸びとなりました。

< 予算の規模 >

(単位：千円)

	R8当初予算 (骨格的予算) ①	当初追加補正 (物価高騰対策) ②	6月補正 ③	補正後 ①+②+③	伸び率(%) ③/(①+②)
一般会計	39,852,000	934,607	311,418	41,098,025	0.8%
特別会計	17,115,446	—	2,258	17,117,704	0.01%
企業会計	8,800,114	—	—	8,800,114	—
総合計	65,767,560	934,607	313,676	67,015,843	0.5%

< 一般会計（6月補正予算）の前年度比 >

(単位：千円)

	当初予算 ①	当初追加補正 (物価高騰対策) ②	6月補正 ③	補正後 ①+②+③	伸び率(%) ③/(①+②)
令和8年度	39,852,000	934,607	311,418	41,098,025	0.8%
令和7年度	39,512,000	301,000	80,301	39,893,301	0.2%
前年度比	340,000	633,607	231,117	1,204,724	—

§ II 主要施策 ① 「明るい」ふるさとづくり
 ～歴史と文化で輝くまち、災害に強い安全安心のまち～

ユネスコ創造都市ネットワークの推進

【拡】

ユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)

- ・地域固有の文化資源を基盤に、世界407の加盟都市とのネットワークを活かしながら、国際的視野で工芸や文化の発展に取り組み、未来へとつながる創造性あふれた文化や産業の担い手を育成します。
- ・本市の文化的多様性を高めるとともに、世界への情報発信を進めます。

市民一人ひとりが、寛容性や文化を育み、挑戦できる「創造都市 越前」を目指します。

文化振興

伝統工芸産地振興

観光振興

【新】創造都市の推進

伝統文化×伝統工芸

創造都市の市民理解を深め、創造性あふれる人材、産業の育成を図る。

- ・国内外の加盟都市交流
- ・セミナー等開催
- ・国際会議への参加 など



本市に根づく書道文化という文化資源を活かした創造的なまちづくり

現代の寺子屋

本市の魅力のひとつである寺院を活用し、子ども達に書や書くことの楽しさを体験する機会の提供



▲武生高校書道部による書道パフォーマンス

書のセットの開発

越前の手仕事の技を集約した上質な書道セットを制作
 「手仕事のまち越前市」の文化的価値に共感する層へ新たなアプローチを行い、訪問機会を創出



▲書のセットイメージ

事業費 14,848千円

【創造都市推進事業 6,499千円】
 財源：国 1,054千円、一般財源 5,445千円
 【書のまち推進事業 2,249千円】
 財源：国 1,058千円、一般財源 1,191千円
 【観光推進事業 6,100千円】
 財源：県 3,000千円、
 まちづくり事業基金繰入金 3,100千円

【事業名：創造都市推進事業、書のまち推進事業】
 予算書 p17
 担当課：文化県都推進課

【事業名：観光推進事業】
 予算書 p19
 担当課：観光誘客課

① 「明るい」ふるさとづくり

～歴史と文化で輝くまち、災害に強い安全安心のまち～

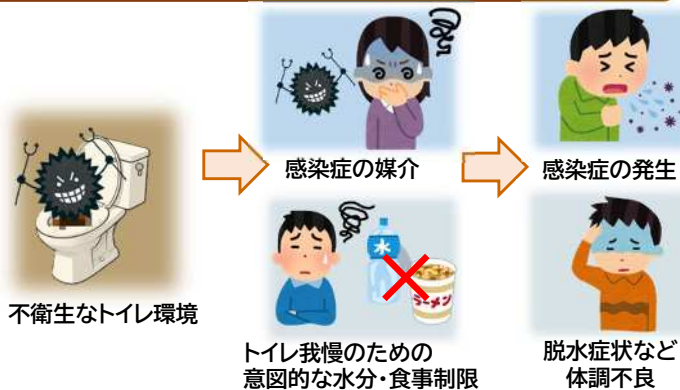
能登半島地震から見た課題への対策 ～トイレトラックを導入～

【新】

<概要> トイレトラックを導入し、災害時に衛生的なトイレを提供することで、被災時の衛生環境の確保や被災者の健康維持を図ります。

災害時のトイレ環境

不衛生なトイレは災害関連死につながる



現在の対応状況

携帯トイレを市内広域避難場所に配備

トイレ断水時

▼携帯トイレを便器にかぶせて使用



必要最低限の備えで
発災直後も安心な
体制を整えています

長期間の断水により使用、衛生面の負担増

断水時も衛生的に利用できるトイレトラックを導入



▲トイレトラック写真（福井県導入車両）



▲トイレトラック内多機能トイレ
（福井県公式Instagramより）

断水時が続いても
衛生的なトイレが
使えて安心



平常時に貸出を行います

防災訓練等に貸出し、
防災啓発・普及活動を行います。

貸出先（イメージ）



防災訓練



サマフェスティバル



マラソンなど

- ・個室5室（洋式4基、多機能トイレ1基）
- ・ソーラー発電機、外部充電可能
暖房・換気扇付き



事業費 29,574千円

財 源：市債（緊急防災・減災事業債）29,400千円、
一般財源 174千円

【事業名：地域防災対策事業】

予算書 p17

担当課：防災危機管理課

① 「明るい」ふるさとづくり

～歴史と文化で輝くまち、災害に強い安全安心のまち～

第3期空家計画に基づく空き家対策の推進

【拡】

<概要> 第3期空家計画に基づき、所有者・地域・不動産事業者・行政の主体性を明確にして、3つの取組みにより空き家対策を進めます。

(1) 適正管理の確保

(2) 活用(跡地)の拡大

【新】越前市空家等対策早期決断支援事業(6,000千円)

空家発生時の家財処分や、相続手続を支援し、スムーズな住宅やその跡地の利活用を図る。

建物が傷まない早期の売却・賃貸や跡地活用を促す。

おうちナビ登録空家や住宅用地増加につなげる。
(移住者の中古住宅や住宅用地の選択の幅が広がる。)

(3) 危険な空家等の除却 代執行による除却(2,620千円)

特定空家等に認定された空家について、計画的に除却を進めることにより、市民の安全・安心な暮らしを確保していく。

補助内容	補助額	件数
・除却	10万円	50件
・家財処分	5万円	10件
・相続等相談	5万円	10件



事業費 8,620千円

財源：国 1,310千円、県 655千円、一般財源 6,655千円

【事業名：空き家対策事業】

予算書 p 21

担当課：建築住宅課

農作物鳥獣害対策の支援

【拡】

<概要> ICT機器の活用による捕獲・点検等の「省力化」を図るとともに、侵入防止柵等の設置による「防除」を強化することにより、農作物被害や地元負担の軽減を図ります。

- 1 補助経費 ICT機器の導入 (自動捕獲システム、シカ用檻の導入：下黒川町)
ワイヤーメッシュ柵の設置 (設置集落数の増加：37集落 → 38集落)
電気柵の設置 (地元負担割合の軽減：1/6 → 0)
- 2 補助対象 越前市鳥獣対策協議会
- 3 補助率 10/10



▲ ICT機器を装着したシカ用大型檻



▲ ワイヤーメッシュ柵



▲ 電気柵

事業費 2,728千円

財源：県 2,728千円

【事業名：農作物鳥獣害防止対策推進事業】

予算書 p 19

担当課：農林整備課

② 「前向きに」夢と誇りを持てる産業と担い手づくり

～新幹線駅を核に、未来産業と交流の拠点を～

農業の規模拡大、担い手対策支援

【新】

<概要> 農業従事者の担い手不足や収益性の低下など農業課題の解決を図るため、国の補助事業を活用し、地域の中核として農地を引き受ける担い手の育成・確保や、経営規模の拡大、作業の効率化に必要な農業用機械等の導入を支援します。

▼補助対象設備の例

- 1 補助対象 市内認定農業者、生産組織等
- 2 補助率 3/10 (県10/10)
- 3 総事業費 39,843千円
 [内 訳] 補助額 11,952千円
 実施者負担 27,891千円
 [導入設備] 乾燥用設備
- 4 補助要件 ①経営面積の3割又は4ha以上の拡大
 ②付加価値額1割以上の拡大
 ③労働生産性3%以上の向上
 ①～③のいずれか一つに取り組むこと



(乾燥用設備)



(ビニールハウス)



(トラクター)

担い手の育成・確保、経営規模拡大等につなげる

事業費 11,952千円

財源：県 11,952千円

【事業名：農業生産総合対策条件整備事業】

予算書 p19

担当課：農政課

オーガニック宣言都市として、有機農業のさらなる推進

【拡】

<概要> 県・JA及び生産者（コウノトリ部会等）と連携し、新たな有機農業取組者の確保や有機農産物等の販路開拓を推進することにより、有機農業のさらなる拡大につなげます。また、生産者等への丁寧な説明・情報共有を行います。

① 新たな有機農業取組者の確保



▲マニュアルを使った栽培技術の横展開



▲有機野菜の栽培研修会を実施

② 有機農産物等の販路開拓と機運醸成



▲市内の全小中学校の学校給食へ有機米の提供

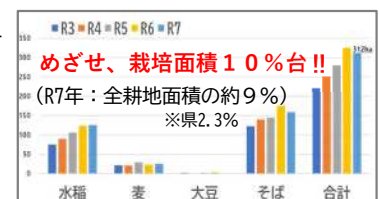


▲オーガニック関心層へ有機農産物をPR

③ 【新】有機農業先進地として「福井県農林水産地方創生センター」に令和8年度から参画（県内2市2町）

有機農業の担い手確保、生産品種の拡大等につなげる

➡ 有機農業推進の取組みが評価され、国庫を確保



ゼロ予算

財源：有機農業産地づくり推進協議会 予算5,500千円

担当課：農政課

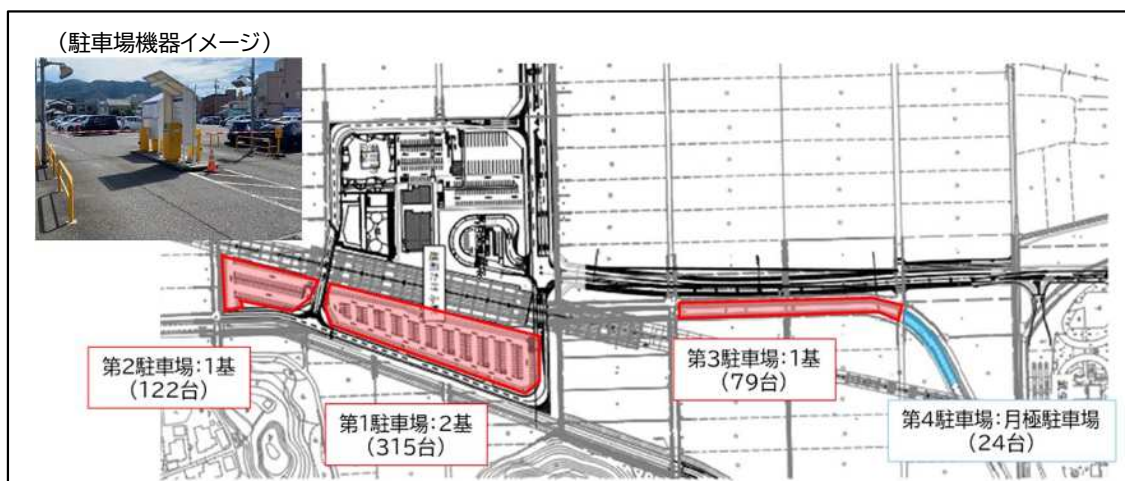
② 「前向きに」夢と誇りを持てる産業と担い手づくり ～新幹線駅を核に、未来産業と交流の拠点を～

越前たけふ駅P & R駐車場の有料化

【新】

<概要> 越前たけふ駅P & R駐車場の混雑対策として、新幹線や高速バス利用者が使いやすく、安心して駐車できるよう有料化を実施します。

- ◇工事請負費：70,000千円（駐車場機器の設置（ゲート式駐車場）N=4基）
- ◇委託料：2,500千円（ゲート管理: 3か月分）



事業費 72,500千円

財源：国 35,000千円、市債(公共事業等債) 31,500千円、
駐車場使用料 6,000千円

【事業名：駐車場管理事業】
予算書 p 21
担当課：都市計画課

③ 「元気で」幸せ溢れる100年人生実現 ～スポーツと文化で健康長寿、Uターンで活力を～

生涯スポーツ人口の拡大 ～トップアスリートチームによるスポーツイベントの開催～

【拡】

<概要>生涯スポーツで誰もが元気に幸せを実感するため、e☆SPARKLEとともに市民がスポーツに親しむ機会を創出し、交流人口の拡大を図る事業を実施します。



① e☆SPARKLE イベント

菊花マラソンの魅力を高め、交流人口を拡大



【新】③ ベイビ

e☆SPARKLE

トップアスリートによる乳幼児とその保護者を対象として、親子、家族で楽しめるイベントの開催



② e☆SPARKLE アカデミー

ジュニア世代の運動レベル能力を向上させるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催



④ e☆SPARKLE バイク

中島康晴氏監修のもと自転車を身近に感じてもらうイベントを開催

事業費 800千円

財源：県 400千円、一般財源 400千円

【事業名：社会体育振興事業】

予算書 p21

担当課：スポーツ交流課

自転車受入環境の整備

【新】

<概要>令和7年11月に策定した「自転車活用推進計画」を推進するため、関係団体との意見交換を行うほか、自転車受入環境を整備します。

取組み1

受入環境の整備

自転車の駅の設置、レンタサイクル・シェアサイクル等の検討



▲自転車の駅イメージ

取組み2

(仮称) 越前市自転車活用推進会議の開催

自転車活用推進計画に位置付けられた施策の円滑な実施のため、関係団体による会議を開催し、意見交換を行いながら自転車活用の一層の推進を図る。



事業費 276千円

財源：県 108千円、一般財源 168千円

【事業名：自転車活用推進事業】

予算書 p17

担当課：スポーツ交流課

③ 「元気で」幸せ溢れる100年人生実現 ～スポーツと文化で健康長寿、Uターンで活力を～

介護事業所ネットワーク基盤の構築

【新】

<概要> 市内介護サービス事業所と市が共通で利用する専用ネットワークシステムを導入し、情報共有の効率化とセキュリティ強化を図ります。これにより、ケアマネジャーの業務負担を軽減し、人材の定着・参入しやすい環境を整備します。



事業費 2,258千円【介護保険特別会計】

財源：国 869千円、県 434千円、
1号保険料 520千円、一般会計繰入金 435千円

【事業名：包括的支援事業及び任意事業】

予算書 p 31

担当課：長寿福祉課

④ 「楽しく」教育・子育て

～明るく誰もが楽しい子育て・教育環境の充実の前進～

屋内遊び場の供用開始

【新】

<概要> 天候に左右されずに遊ぶことができるこどもの遊び場が新たにオープンします。

【施設概要】

- 場所 ショッピングセンター「武生楽市」内
- 面積 412.42㎡（遊び場フロア400.22㎡、立体迷路12.20㎡）
- 開場時間 午前10時から午後6時まで
- 休場日 毎週火曜日（ただし、その日が休日の場合は翌日）
- 入場料 無料
- 利用対象 概ね12歳までのこども（保護者同伴必須）
- 供用開始日 令和8年8月4日
- その他 土日祝日や小学校の夏休み・冬休み・春休み期間は、予約制（立体迷路は予約不要）



▲立体迷路



ゆるやかな丘 ▶



◀絵本の森

事業費 13,886千円

財源：一般財源 13,886千円

【事業名：屋内遊び場管理運営事業】
予算書 p 19
担当課：こども未来課

保育環境充実への支援

【新】

1 主食提供推進のための備品等購入支援 1,293千円

<概要> 民間園に対し、3歳児から5歳児の主食（ご飯）を提供するために必要な備品購入や改修工事に係る経費を支援します。温かい主食提供の推進により、こどもの食育の充実及び保護者負担の軽減を図ります。



2 保育と保育職場の魅力発信への支援 600千円

<概要> 民間園に対し、小中高校生向けの保育体験イベント等の実施に係る経費を支援し、将来的な保育人材確保を図ります。



事業費 1,893千円

財源：県 1,096千円、一般財源 797千円

【事業名：保育充実促進事業】
予算書 p 19
担当課：こども未来課

④ 「楽しく」教育・子育て

～明るく誰もが楽しい子育て・教育環境の充実の前進～

訪問型産後ケアサービスの開始

【拡】

<概要>産後ケア事業について、通所型・宿泊型サービスの提供に加え、助産師が自宅等を訪問し、ケアを行う訪問型サービスを追加します。

- 1 対象者 産後6か月になる前日までの母と子
- 2 利用時間 1回1時間程度
- 3 利用上限 通算2回
- 4 自己負担 500円/回
- 5 利用の流れ ①妊娠8か月アンケート送付時に利用券（訪問型）を同封
②利用施設（福井県助産師会産後ケア実施施設）に申し込む
③助産師が自宅等を訪問し、産後ケアを受ける



事業費 1,014千円

財源：国 507千円、県 253千円、一般財源 254千円

【事業名：妊娠・出産包括支援事業】

予算書 p 19

担当課：健康増進課

小中学校適正規模・適正配置の検討

【新】

<概要>本市の子どもたちにとって望ましい教育環境について、保護者・学校・地域が学び、共通理解を深める学習の場や先行事例の視察を通じて、市全体の基本的な考え方を整理します。

事業内容

適正規模・適正配置についての学習会（3回程度）

先行事例の視察（大型バス）



教育環境の学習会
(保護者・学校・地域)



望ましい教育環境



事業費 777千円

財源：一般財源 777千円

【事業名：教育委員会事務局運営事業】

予算書 p 21

担当課：教育振興課

④ 「楽しく」教育・子育て

～明るく誰もが楽しい子育て・教育環境の充実の前進～

かこさとし生誕100年 × 中央図書館開館20周年

【新】

<概要> かこさとし生誕100年と、中央図書館の開館20周年という機会をとらえ、図書館を拠点として、関連イベントを開催することで、「読書のまち 越前市」を発信し、読書活動の推進及びまちの活力の醸成につなげます。

● かこさとし生誕100年 × 市内全域

生誕100年を市内各所でPR

● かこさとし生誕100年 × 中央図書館開館20周年

図書館と隣接する武生中央公園や周辺施設、イベントとの連携（クイズラリー等）

● 中央図書館開館20周年

- ・越前市出身の俳人「西生ゆかり」氏の講演会（第68回角川俳句賞受賞）
- ・オリジナル読書手帳の配布



©加古里子 1967
福音館書店

事業費 736千円

財源：県 368千円、一般財源 368千円

【事業名：読書推進事業】
予算書 p21
担当課：図書館

⑤ 「人の絆」で行財政システム改善

～DXで便利な市役所、持続可能な自治体経営～

放課後児童クラブにおけるICT導入支援

【新】

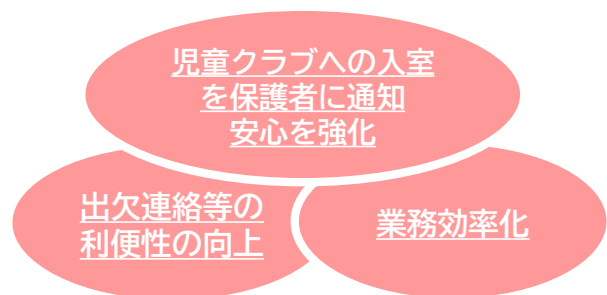
<概要> 児童と園児が同一施設を利用しており、管理が複雑化している民間園実施の放課後児童クラブに対し、ICTシステムの導入に係る費用を支援し、保護者の利便性と安心感の向上及び業務効率化を図ります。

- 1 補助対象 民間園実施の放課後児童クラブ（4クラブ）
- 2 補助経費 ICTシステム導入に係るタブレット等の端末購入費、システム構築費等
- 3 補助額 1クラブあたり上限50万円

《運営支援システム イメージ》



※導入時期はクラブによって異なります。



事業費 2,000千円

財源：国 666千円、県 666千円、一般財源 668千円

【事業名：放課後児童クラブ事業】

予算書 p19

担当課：こども未来課

民間園におけるICT運用支援

【新】

<概要> 保育ICTツール※を導入・活用している民間園に対し、使用継続に係る費用を支援し、保育業務の負担軽減及び園・保護者の利便性向上に不可欠となっている保育ICTツールの活用を推進します。

- 1 補助対象 保育ICTツールを活用している民間園（16園）
- 2 補助経費 保育ICTの使用継続に係る経費（システム使用料等）
- 3 補助額 1園あたり上限50万円

※保育ICTツールの活用例

- ・ 児童保育記録、出席簿、登園・降園管理、午睡チェック
- ・ 連絡帳、各種通知のデジタル化

など



事業費 5,433千円

財源：県 2,716千円、一般財源 2,717千円

【事業名：保育充実促進事業】

予算書 p19

担当課：こども未来課

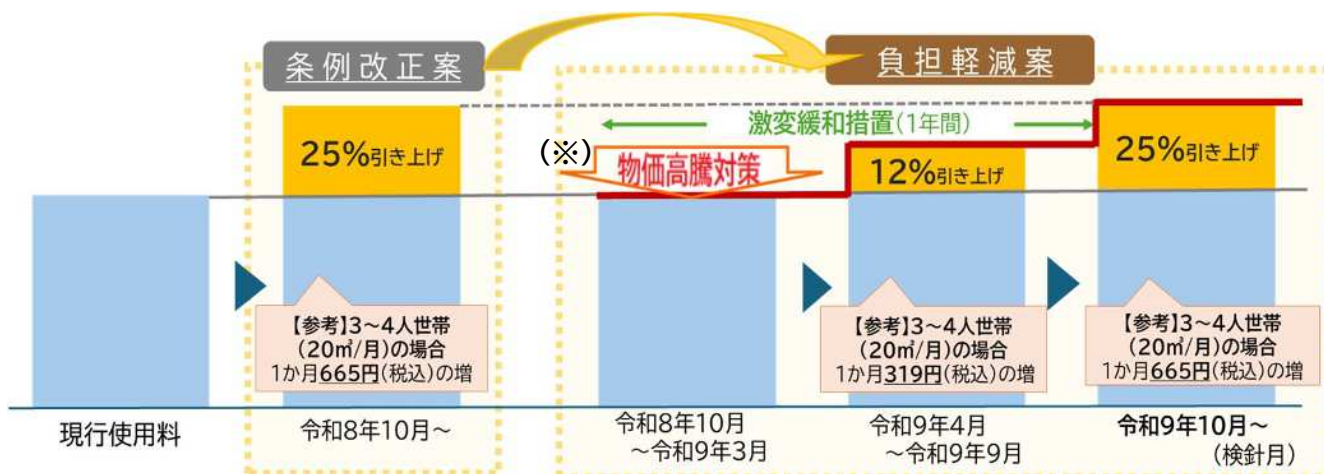
⑤ 「人の絆」で行財政システム改善

～DXで便利な市役所、持続可能な自治体経営～

下水道使用料引上げ相当額を半年間減免

【新】

<概要> 下水道使用料改定による利用者の負担を軽減するため、令和8年10月から令和9年3月検針分までの6カ月間、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（国の物価高騰対策）を活用し、引上げ相当額を減免し、使用料を据え置きます。



(※)減免分は一般会計から繰り入れ 48,377千円 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金48,377千円)

事業費 48,377千円

財源：国 48,377千円

【事業名：下水道事業会計事業】

予算書 p 21、33

担当課：上下水道課、財務企画課